

地域おこし協力隊通信 (No. 74) 3年間の感謝と思い出の場面

令和5年3月をもって私の地域おこし協力隊の任期は満了となります。これまで支えてくださったすべての方へこの場を借りてお礼申し上げます。3年間誠にありがとうございました。

これまで、町外からの移住を検討している人に対する相談対応や、ドローンを利用した町内観光地の空撮、SNSなどによる情報発信をして参りました。ひとつひとつは小さい仕事ですが、コツコツ積み重ねていくことで町の認知が高まっていく大切な仕事だったと感じています。

移住相談をさせていただいた方の中で、ひとときわ印象に残っている一組のカップルがいました。ふたりは関東から移住先を探して全国を巡るなかで、鹿児島県に注目していただきました。私も移住者ですから、時間をかけてさまざま不安を分かち合い、徐々に解消していきました。ふたりはその後、県本土を含めて多くの市町村を周りましたが、最後には「中種子町に住みたい」とわが町を選んでくれました。今、ふたりは夫婦となり、もうじき転入します。この広報紙が町民の皆さんの手に届くころには、中種子町民となっているでしょう。この出来事は、地域おこし協力隊をしていて最も嬉しく、誇りに思った場面の一つです。

私は地域おこし協力隊の退任後、

行政書士事務所の開業を目指します。行政書士とは、官公署に対する行政手続きや、事実証明・権利義務に関する書類の作成を代理する専門家です。具体的な例を挙げると、農地転用の手続きを代行したり、遺言書の作成をするような場面で活躍します。

難しく聞こえる職業ではありますが、非常に魅力的でやりがい溢れる仕事だと感じています。誰かの具体的な困りごとを、法律という専門性で助力できるというのは、私にとって成し遂げたいことの一つです。移住先を探しているカップルにおせいかいを焼きながらあれこれお手伝いをしてきたように、誰かの困りごとを、一緒に考える。そういう存在としてこれからも中種子町で暮らせればよいなど、夢見ています。

―湯目知史(ゆのめともふみ)―
中種子町地域おこし協力隊員。宮城県出身。



令和2年度行政書士試験の合格証が届いた筆者

各課からのお知らせ

中種子町 LINE 公式アカウント運用開始について

◎お問い合わせ先 企画課広報係 ☎27 1111 内線 259

3月1日から情報発信手段の一つとして、LINE公式アカウントの運用を開始しました。

暮らしや防災、観光など本町の情報がスマートフォンなどから確認できます。

友だち登録を行い、本町から配信される情報をご確認ください。

■アカウント名 中種子町

■ID @nakatanetown



■登録方法

- ①お手持ちのスマートフォンなどから、「LINE アプリ」をダウンロードし、ご自身のアカウントを作成してください。
- ②次のいずれかの方法で友だち登録を行ってください。
 - QRコードを読み取り「友だち追加」を行う。
 - LINE のホーム画面からアカウント名「中種子町」を検索して「友だち追加」を行う。
 - LINE の友だち追加から「ID 検索」を行い、「@nakatanetown」を検索して「友だち追加」を行う。